



私たちは、生徒の「夢・挑戦・自立」を応援します



令和6年12月13日発行
校長 浅香 英典 No. 8

地域の一員として

校長 浅香英典

12月1日（日）に本校で避難所運営訓練が行われました。地域の自治会・町会で編成された避難所運営本部により、災害が起こった場合に避難した地域住民が少しでも不安を軽減して避難所生活を送ることができることを目的として実施しています。運営委員会と地域住民が約300人参加しました。本校生徒は訓練運営ボランティアとして様々な訓練の手伝いを行いました。そして中学生消火隊がD級ポンプを使用した放水訓練を披露しました。

足立区は、さまざまな災害対策を行っています。防火防災意識の向上と、興味をもった生徒が将来地域の防災リーダーとして活躍できる土壌を作ることを目的として中学生消火隊を区内全中学校で結成し、放水訓練を行っています。また、地震火災の初期消火及び延焼防止を目的として道路上にある消火栓に直接つないで放水することができる「スタンドパイプ」を区内の町会やコンビニ、信用金庫に設置をしています。さらに令和4年から避難所の開設・混雑状況をマップ付き、リアルタイムで知ることができる足立区防災アプリがダウンロードできるようになりました。

地震はいつ発生するか予測することはできません。また、台風など天候による災害もどのくらいの大雨が降るのかを正確に予測することはかなり難しいです。だから災害時に正しい情報を収集し、正しい判断、行動ができる力が必要になります。

学校では月に1回避難訓練を実施し、自分と友達の名を守る大切な訓練であることを自覚させ、予期せぬ事態に対する対応を訓練し、防災に関する知識と技能を身に付けさせています。また、地域の避難所運営訓練や中学生消火隊の活動などを通して、自分だけではなく、家族や近所の人たちと助け合ったりできる共助の姿勢を育てています。防災面でも、本校の生徒、卒業生が地域の一員としての役割を果たすことができるよう心がけてまいります。

12月7日（土）にはおやじの会、PTA、開かれた学校づくり協議会に協力いただき、餅つき体験が行われました。前日に2年生が道具の準備や米とぎを手伝い、当日は全生徒が米つき体験を行い、つくたての餅をあんこ、きなこ、磯辺、みたらし、雑煮にいただきました。さまざまな味や食べ方を楽しむことができました。臼の中で米をこねる、つく作業を行うことで餅になっていくようすを見ることは非常に貴重な体験になりました。日本の伝統文化を大切にする花畑北中学校関係者の皆様に感謝申し上げます。このような保護者、学校関係者、地域の皆様との取組を通して、地域を大切にして、地域に誇りがもてる花畑北中学校生を育てていきます。今後ともご協力をお願いいたします。

12月上旬に生徒及び保護者の皆様に学校評価アンケートをお願いしております。ご協力お願いいたします。集計結果を参考にさせていただき、更に充実した教育活動が実施できるよう来年度の教育内容を計画していきます。来年もよろしくお願いいたします。